

広葉樹の伐採で追い口を入れたときに幹が裂け上がり、伐倒木の下敷きになり骨折した

📎 災害概要

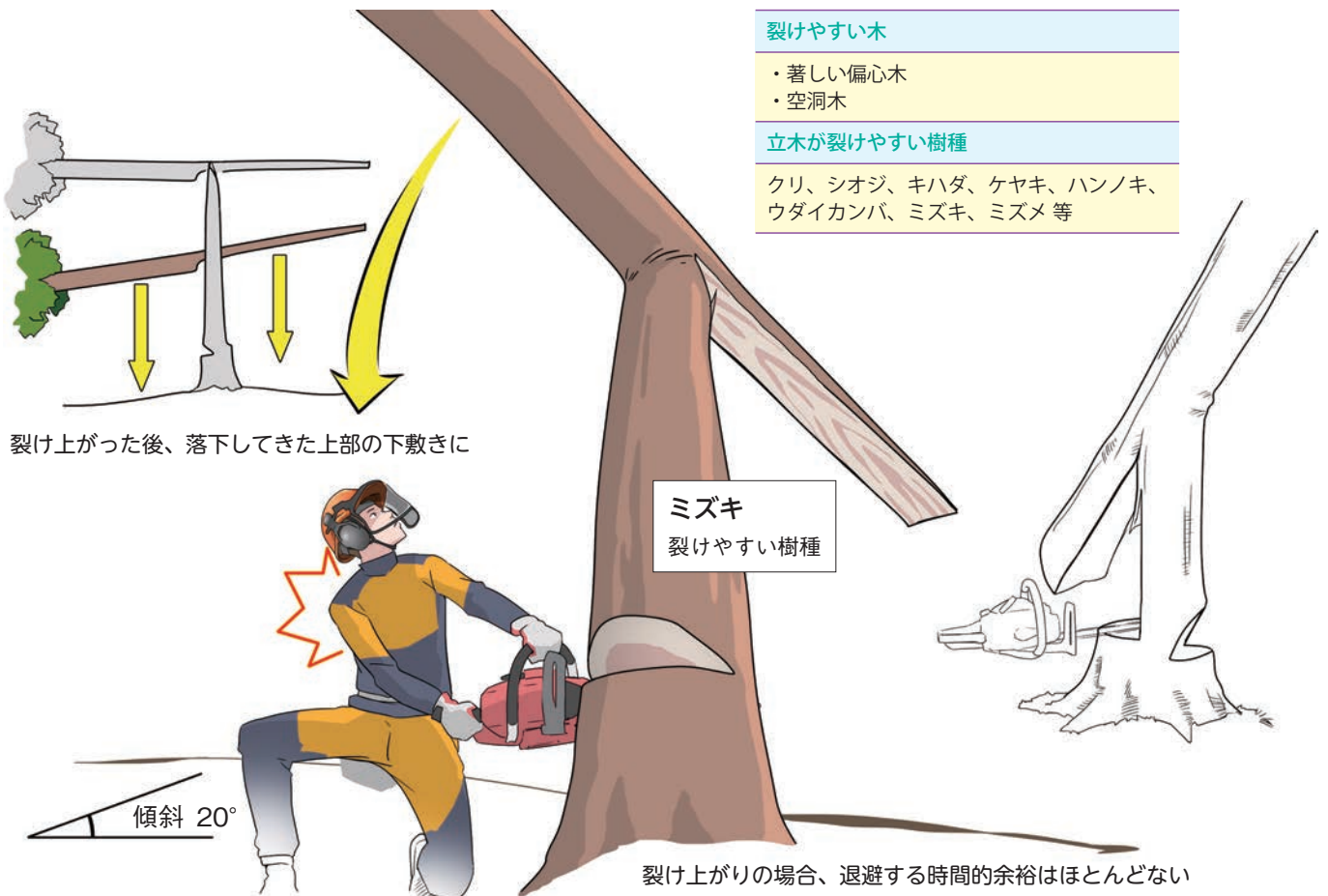
- ▶原因：裂け上がり ▶発生月：2月 ▶FW研修：1年目 ▶年齢：不明
▶受傷部位：右肩 ▶傷病名：骨折 ▶作業内容：広葉樹皆伐

👤 発生状況

傾斜20度。積雪50cm。チェーンソーにてミズキを伐採中。

追い口を入れたときに幹が裂け上がり、落下。研修生は落下した伐倒木を避けられず下敷になった。

車の場所まで200mあり、担ぎ出し及び担架で搬送し、救急車で病院に搬送した。



原因

裂け上がり木の下敷き。

再発防止対策

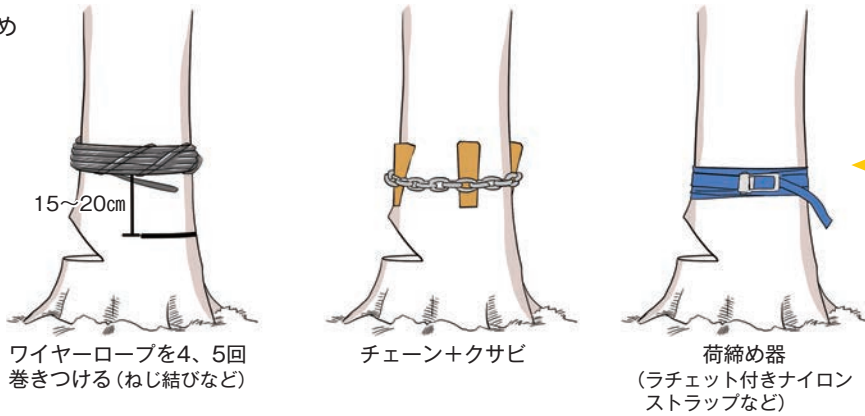
- 退避場所及び足場の確保。
- 積雪時、広葉樹など裂け上がりが発生することを想定する（積雪が50cmあり、広葉樹枝部に積雪か氷が付いていた可能性もあり）。

- 著しい偏心木
傾き木
枝つきが著しく偏った木
欠陥木（腐り・裂け・空洞）
風倒木
- 樹冠の着雪・風による影響
- その他
重機・チルホール等による過度のけん引

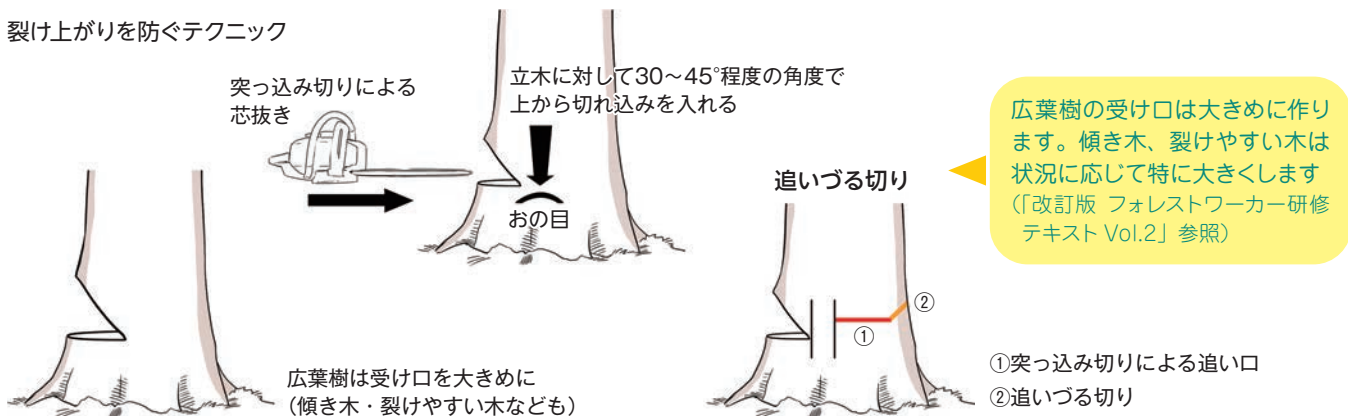


重心の確認

裂け止め



裂け上がりを防ぐテクニック



チェーンソーで追い口を切ったところ幹が裂け上がり、元口が作業者の背中に落下した

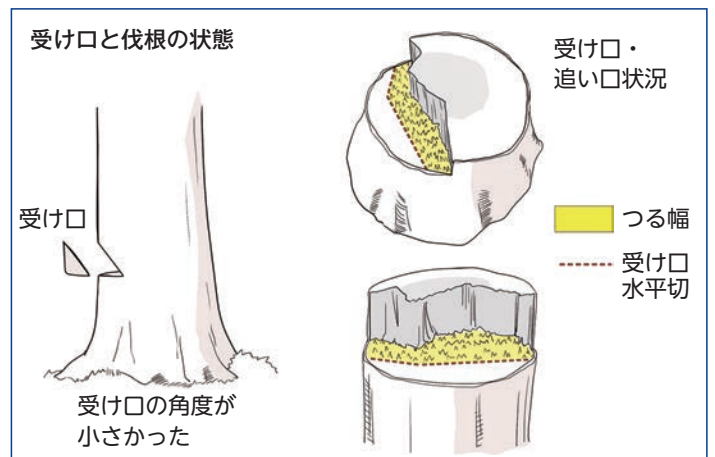
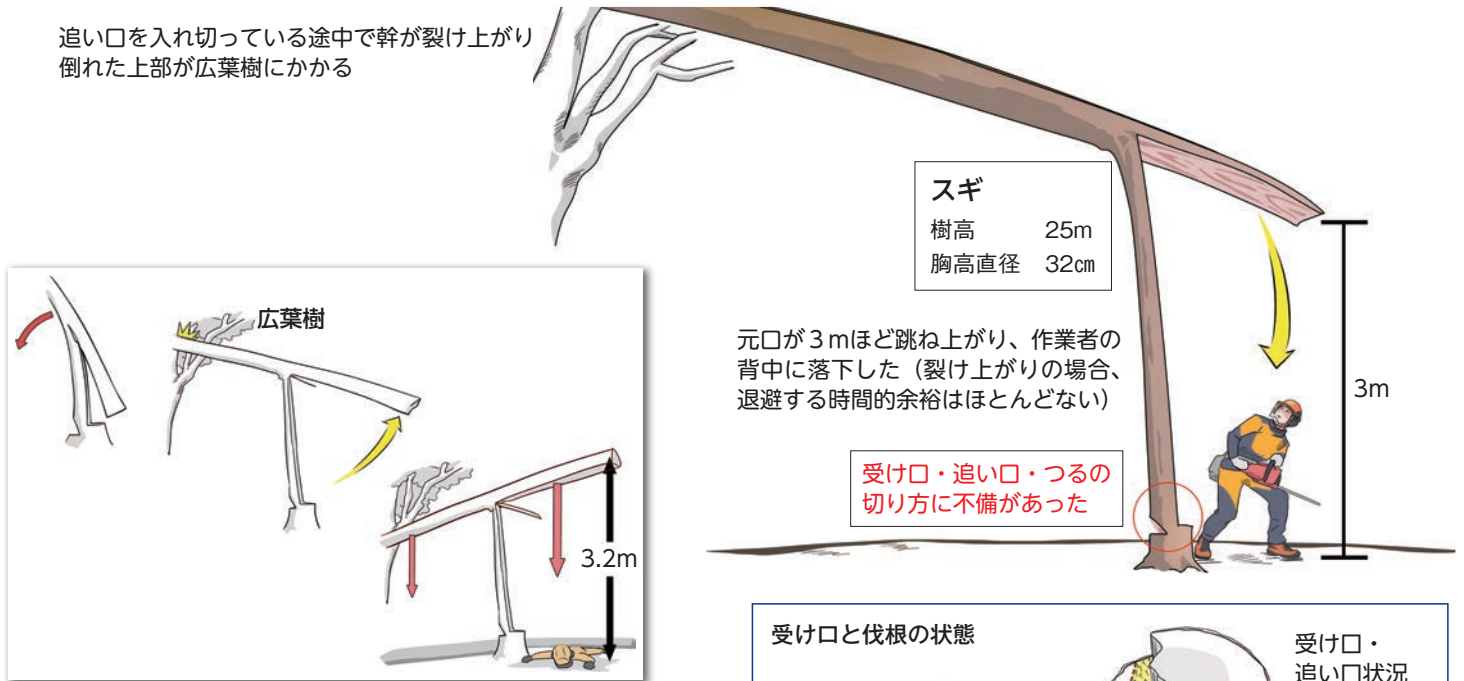
📎 災害概要

- ▶原因：裂け上がり ▶発生月：6月 ▶FW研修：1年目 ▶年齢：32歳
- ▶受傷部位：脇腹、背中 ▶傷病名：骨折 ▶作業内容：間伐、伐木

👤 発生状況

平坦地。スギ50年程度(直径32cm、樹高25m)を間伐作業中。
 チェーンソーで受け口を入れ、追い口を切っていたところ、幹が裂け上がって倒れ、伐倒方向にあった広葉樹にかかるとともに元口が3mほど跳ね上がり、研修生の背中に落下した。

追い口を入れ切っている途中で幹が裂け上がり倒れた上部が広葉樹にかかる



原因

伐倒中の裂け上がり。

再発防止対策

- 適切な受け口、追い口を取ることを習熟する。
- 伐木にあたっては退避場所を確保する。

● 裂け上がり ●

裂け上がりの原因は、つる幅が不適切であること、追い口が低いこと、受け口角度が小さいことなどがあります。(写真：上村巧「狙いどおりに伐倒するために 伐木のメカニズム」(全国林業改良普及協会))



スギの裂け上がり。追い口が低く、受け口角度が小さい場合は、元口の裂け上がりに繋がります。



追い口が低く、つるが厚すぎたために元口が裂け上がったヒノキです。



チェーンソーの操作技能 基本トレーニングテキスト

チェーンソーの操作に慣れないうちは、適切な受け口、追い口をつくることができず、伐倒時の危険が大きいいえます。しかし、危険ではあっても伐倒経験を積まなければ上達が見込めません。このジレンマを解消できる練習法が注目されています。

1 m程度の短い材を使い、受け口、追い口、つるをチェーンソーで作り、結果を数値で把握しながら正確に切る技能を身につけることができる練習法です。

その練習法をまとめたテキストが、全国林業改良普及協会のWEBページよりダウンロード可能です。